

2018年3月号

3月15日(木)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

# 月刊 温根内通信 No. 258



## 思いがけない大雨、去り行く冬…

記録的大雪の1週間後に記録的大雨。雨によって大量の積雪が溶け、川を伝って湿原へ流れ込みます。雪原を水面に変えた雨水は、朝晩の冷え込みでふたたび凍結。ヨシ・スゲ湿原はスケートリンクのようになっていました。そうこうしているうちに冬が終わったかのような暖かさが訪れ、冬鳥たちは背中を押されるように次の居場所へと戻っていきます。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の自然～



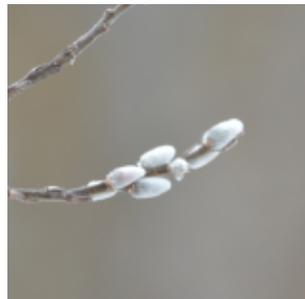
【ホロムイツツジ】  
ツツジ科 幌向躑躅  
ミズゴケ湿原では当たり前のように見られますが、絶滅危惧種 (EN) です。5月に白い花を咲かせます。別名ヤチツツジ。



【タンチョウの足跡】  
湧水地でタンチョウの足跡が続いていました。餌を探していたのでしょうか。この冬はあまり足跡を見かけなかったため、見つけたときは少し安心しました。



【フキノトウ(アキタブキ)】  
キク科 秋田蓴  
いち早く咲く植物で、鶴居軌道の湿った地面から芽吹き始めました。花期を先に迎え、その後あの大きな葉を、夏にかけて広げます。



【キヌヤナギ】  
ヤナギ科 絹柳  
鶴居軌道跡ではヤナギの冬芽が芽鱗を脱ぎフワフワの白毛が顔を出しています。ヤナギ類は4月から目立たない花を咲かせます。



【ウメノキゴケの仲間】  
ウメノキゴケ科  
ハンノキの幹にべったりと張り付いた緑色の物体が見られます。これは環境が清浄なところにしか生育できない地衣類の一種です。



【ヤチボウス】  
雪解けで姿が現しつつありますが、鶴居軌道沿いにあるものは、記録的な大雨で土砂をかぶってしまいました。今後どういう影響がでるか、少し心配されます。

## ～温根内探勝木道周辺の野鳥～

厳しい冬が過ぎて気温が上がり始め、留鳥たちの囀りも聞こえてきました。また、春に向かって鳥たちは入れ替わりの時期に差し掛かり、冬鳥たちは徐々に北の繁殖地へ旅立っていきます。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸出しております。



【オオワシ】 冬鳥  
タカ科 大鷲  
国内で見られる猛禽の中では最大級。上空を羽ばたく姿はいつ見ても圧巻です。冬の使者と呼ばれる彼らともそろそろお別れです。



【ツグミ】 冬鳥  
ヒタキ科 鶇  
全国的に見られる冬鳥です。湧き水周辺で水生昆虫などを採餌しています。彼らもまた、繁殖地へと旅立っていく頃合いです。



【オオアカゲラ】 留鳥  
キツツキ科 大赤啄木鳥  
アカゲラよりひと回り大きく、バサバサッ！という羽音が違いを感じさせます。下面に黒い縦縞模様が見られるのも本種の特徴です。



【タンチョウ】 留鳥  
ツル科 丹頂  
時折温根内で番を見かけるようになりました。営巣地を探しているのかもしれませんが。今年の子連れのところを見たいですね。

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥(2月15日～3月14日) ※和名は日本鳥類目録第7版の順

■ヒシクイ■オオハクチョウ■タンチョウ■トビ■オジロワシ■オオワシ■オオタカ■ノスリ■コミミズク■コゲラ■オオアカゲラ■アカゲラ■モズ■カケス■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ワタリガラス■キクイタダキ■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ヒヨドリ■エナガ■ゴジュウカラ■キバシリ■ツグミ■セグロセキレイ■マヒワ

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いいたします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いいたします。

## ☆☆☆☆ 自然ふれあい行事が開催されました ☆☆☆☆

○「湿原の裏山でスノーシューハイク」3月4日 参加者：13名

スノーシューを履いて湿原の裏山を探索するイベントを行いました。まず入念に準備運動をしてからVCの裏山へと出発しました。坂を上っていくと、裏山には数日前に降った雪の重みや暴風によって倒れた樹木が多数見られ、間近でそれらの花芽や樹皮の特徴が観察できました。裏山を上りきると、いつもの湿原を上から眺望でき、雪の積もり方の違いで湿原の植生がはっきりと分かれているのがわかりました。また、エゾシカの食痕やねぐらにしていた跡もみつき、湿原周辺に多くのエゾシカが生息していることも再確認できました。下山したところでは冬でも凍らない湧き水も見られ、魚類や地衣類なども含めた多くの生命を育まれていることや、雨水を地中に蓄える森の機能を学び、森と湿原の「つながり」を肌で感じることでできた一日となりました。(講師：本藤泰朗)



## ☆☆☆☆ トピック 3月8～9日の大雨について ☆☆☆☆

低気圧の影響で道内では3月8～9日にかけて大雨が続き、鶴居村では3月の一日に降った降水量としては観測史上最大の133mmを記録しました。この降水量は3月1ヶ月間の平均降水量(68.6mm)の約2倍に上ります。さらに気温の上昇も伴って雪解けが促進され、釧路地方の河川では急激な水位上昇が起こり、避難指示・避難



泥水をかぶったヤチボウス

勧告の発令された地域もありました。ここ温根内周辺でも、いつもとは違う風景が見られました。ヨシ・スゲ湿原の木道は一部が冠水し、鶴居軌道跡の湧き水地も水位が上がって遊歩道に溢れました。今回は、一昨年夏の台風連続上陸の時よりも水位の上昇スピードが急で、引いていくのも早かった印象があります。大雨と「融雪」が重なるとこんなことになるのか、と改めて自然の驚異を思い知らされました。(藤原伸也)



冠水した木道

決まりました！

# ☆☆☆☆自然ふれあい行事 平成30年度の予定☆☆☆☆

## 4月

【春の足音を聴きに行こう】 定員 15名  
15日(日) 10:00～12:00  
釧路湿原の環境や生態系を中心に学びながら早春の木道を歩きます。⇒現在、参加者受付中！  
(温根内ビジターセンター TEL:0154-65-2323)



## 9月

【アイヌ民族が利用した植物を観察しよう】  
定員 15名 9日(日) 10:00～12:00  
湿原を歩きながらアイヌ民族が利用した植物を観察し、彼らの知恵と歴史を学びます。



## 5月

【春の花を見に行こう】 定員 15名  
6日(日) 10:00～12:00  
ようやく咲き始めた春の花を観察し、釧路湿原の遅い春を観察してみましょう。



【早朝バードウォッチング】 定員 15名  
20日(日) 8:00～10:00  
鳥の活動が活発な早朝、釧路湿原とその周辺に集まり始めた夏鳥を探します。



## 10月

【ザリガニウォッチング2～ニホンザリガニ編～】  
定員 15名 7日(日) 10:00～12:00  
釧路湿原に棲む絶滅危惧種ニホンザリガニの生態を学び、生息環境を観察します。



## 11月

【地形を見て歩く！湿原探索】 定員 15名  
18日(日) 10:00～12:00  
遠くまで見渡せるこの時期。普段注目しない「地形」にスポットを当てます。



【クリスマスリースを作ろう】 定員 15名  
25日(日) 13:00～15:00  
クリスマスの前に、自然の素材を使ってオリジナルリースを作りましょう。



## 6月

【初夏の花を見に行こう】 定員 15名  
10日(日) 10:00～12:00  
花の季節到来！湿原を演出する可憐な花や、目立たないスゲの花などを観察します。



## 7月

【夏の花を見に行こう】 定員 15名  
8日(日) 10:00～12:00  
たくさん花を観察し、釧路湿原の最も華やかな季節を堪能しましょう。



【ホタルの週末】  
20日(金)～22日(日) 19:30～21:00  
釧路湿原に棲むヘイケボタル。そのふしぎな生態を学んでから夜の湿原へと出かけます。



## 12月

【冬の植物を見に行こう】 定員 15名  
9日(日) 10:00～12:00  
本格的な冬を前に、植物がどのように冬を越える準備をしているのか観察します。



## 1月

【湿原アニマルトラッキング】 定員 15名  
13日(日) 10:00～12:00  
雪上に残る動物の痕跡から、冬の湿原にはどんな動物が暮らしているのか考えます。



## 8月

【盛夏の花を見に行こう】 定員 15名  
5日(日) 10:00～12:00  
盛夏の湿原で、ふしぎな植物の仕組みを観察します。熱中症対策をお忘れなく。



【ザリガニウォッチング～ウチダザリガニ編～】  
定員 15名 12日(日) 10:00～12:00  
特定外生物のザリガニを楽しく釣りながら、外来種の脅威と湿原への影響を学びましょう。



## 2月

【歩くスキーで湿原ハイク】 定員 15名  
10日(日) 10:00～12:00  
歩くスキーを使って、冬の湿原とその周辺を楽しみます。初心者でもOK。



## 3月

【湿原の裏山でスノーシューハイク】 定員 10名  
3日(日) 10:00～12:00  
残雪の裏山をスノーシューで歩き、雪解けを待つ植物などを観察します。



### ～開館時間が変わります～

4月1日より開館時間が変更になります。夏季(4/1～10/31)の開館時間は午前9時から午後5時までとなります。釧路地方はまだまだ寒い日が続きます。木道を歩く際には、防寒対策を十分に行いましょう。



### 月刊 温根内通信 No.258

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター  
〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内  
Tel:0154-65-2323 Fax:0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

ホームページ: <http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>

Facebook: [温根内ビジターセンター フェイスブック](#)

開館時間:9:00～16:00(4月～10月は17:00まで)

休館日:毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料